

請願書

令和 8 年（2026 年）6 月 2 日

浜田市議会議長 殿

請願者： 株式会社コムサグリ 浜田市相生町 3773-1

紹介議員：森谷公昭

【件名】 リハビリテーションカレッジ島根の存続に向けた公的支援を求める請願

【請願趣旨】 浜田市三隅町に所在する「リハビリテーションカレッジ島根」は、島根県西部で 154 人、浜田市内で 65 人の卒業生が就職しており、地域の医療崩壊を防ぐために不可欠な存在となっています。さらに、市内に約 150 人の学生が居住し、教職員やその家族も含めると、浜田市に対して多大な経済効果をもたらしています。また、地域の中学生に勉強を教えたり、市の依頼で講演を行ったりするなど、地域への貢献活動も積極的に行われています。

しかしながら、同校は過去の赤字経営が響き、今年度から国の大学無償化制度の対象外となってしまいました。その結果、昨年度は 70 名を集めた入学者が、今年度は 46 名に激減するという極めて厳しい経営状況に直面しています。

こうした窮状に対し、学校側は決してただ支援を待っているわけではありません。存続と経営再建に向け、防衛省や海外輸出を見据えた「ライスパック」製造工場の設立や、インドネシアからの留学生を受け入れる特別目的会社（SPC）を通じた利益の還元といった、これまでにない大規模な自主財源確保の構想を模索しています。さらには、寄付による新たな学校設立構想など、学校存続のために並々ならぬ努力を続けています。

先日開催された三隅地域のまちづくり会議においても、住民側から「大切な学校だからしっかり公的支援をしてやってくれ」との声が上がりました。

つきましては、浜田市におかれましても、地域医療と経済を支え、自ら再建に向けた知恵を絞って努力を続ける同校の姿勢を評価し、その存続を助けるための援助を行っていただきたく、以下の通り請願いたします。

【請願事項】

1. リハビリテーションカレッジ島根が今後も浜田市において存続・発展できるよう、浜田市として速やかに適切な公的支援（補助金の交付等）を行うこと

